

大学院特別セミナー

ヒト乳頭腫ウイルスによる皮膚疾患 ～「いぼ」から悪性腫瘍まで～

Skin Diseases Caused by Human Papillomavirus:
From Warts to Malignant Tumors

日時: 2025年9月1日(月) 17:00～

場所: 薬学部研究棟Ⅱ(7階)セミナー室8

講師: **清水 晶** 先生
金沢医科大学皮膚科学講座・教授
(富山医科薬科大学医学部 平成8年卒業)



ヒト乳頭腫ウイルス(HPV)は200種類以上存在し、粘膜型ハイリスクHPVは子宮頸癌、中咽頭癌、肛門癌などの原因となる。皮膚型HPV(良性)では、尋常性疣贅をはじめ、臨床像・病理像の異なる多様ないわゆる「いぼ」が生じ、その発現形式はHPVの型に依存する。足底に生じる「いぼ」は治療抵抗性であり、魚の目や胼胝との鑑別が重要となる。これらの鑑別に有用な、表面擦過物や角質を用いた非侵襲的なタイピング法について紹介する。「いぼ」は免疫抑制薬の内服により難治化する症例があり、小児期より多発する場合には稀な遺伝性疾患が背景にあることもある。種々の「いぼ」と、多発する場合に鑑別を要する疾患についても取り上げる。皮膚に粘膜型ハイリスクHPVが関与する皮膚癌が生じることは稀であるが、爪部ボーエン病の約半数はHPV関連とされる。ボーエン病は通常高齢者に発症するが、爪部病変は若年男性の爪部に多く、性感染症としての側面をもつ。感染経路は興味深く、HPV関連内臓癌との関連も示唆されている。爪部ボーエン病を中心に、近年の研究成果を紹介する。本講演では、産婦人科・泌尿器科領域とも関連の深いHPV関連癌、HPV感染と病理学、さらに難治性疣贅に関与する遺伝性疾患についても言及する。HPVの皮膚疾患や関連腫瘍に関心をもつ研究者・臨床医のご参加を歓迎します。

※本セミナーは大学院の単位認定の対象となります

ZoomURL

<https://us02web.zoom.us/j/86331819152?pwd=xUpke6AGbl8jzOF1Rj2Hksacjf4LyR.1>

ミーティング ID: 863 3181 9152

パスコード: 153562



担当: 皮膚科学講座(内線7305)